

福祉（高齢・介護・障がい）の窓

地域包括支援センターのご案内

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、必要な相談や支援を行うための拠点として、市内3カ所に設置されました。

このセンターでは、保健師や社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門資格を持った職員が、介護や福祉、医療など、さまざまな面から高齢者の生活を総合的に支援しています。

◎主な業務内容

①介護予防ケアマネジメント業務
要支援1や要支援2と認定された方の『新予防給付』と『介護予防事業』のマネジメントを行い、要介護状態にならないための予防や重症化防止の支援を行います。

②総合相談・支援業務

介護保険サービスに限らず、さまざまな相談をお受けし、必要に応じて民生委員や医療機関などと連携し、サービスや制度が利用できるよう支援を行います。

③権利擁護業務

高齢者に対する虐待の防止やその早期発見、消費被害の未然防止など、権利擁護を図るための支援を行います。

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者の皆さんを直接支援するほか、地域のケアマネジャーが円滑に仕事をできるよう支援や指導を行います。

◎市内3カ所に設置された地域包括支援センターの担当地区

地域包括支援センター『ふれあい登別』	地域包括支援センター『ゆのか』	地域包括支援センター『けいあい』
登別東町3丁目1-2 ☎0511	片倉町6丁目9-1（しんた21内） ☎2106	鷺別町2丁目32-1 ☎5005
カルルス町 幸町	札内町、新栄町 青葉町、大和町	若山町、栄町 美園町、上鷺別町

▼問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ（☎5720）

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

登別朗読ボランティアの会

『登別朗読ボランティアの会』は、昭和61年7月に結成され、目の不自由な方のために、声の図書を作成しています。

現在、会員は30歳代から80歳代までの28人。録音テープ作成の基礎や約束事を学んだり、発声のトレーニングをしたりするために、毎月例会や勉強会を、しんた21を中心に開催しています。

「句読点どおりに文章を読む」としても聞きづらいので、聞く方の立場になって読むんですよ。はっきりと発音することも大切です。朗読の録音は、年に1回程度回ってくる当番の会員が、自宅で行っています。途中で言葉に詰まると、はじめからやり直すので、とても時間がかかります。最近では、養護老人ホームの恵寿園で、言葉遊びなどにも取り組んでいます」と会

こころのこもった音読で
つくる
録音テープと交流の輪

2年前に入会した安田みね子さんは、「年老いた父親に図書を読んだことをきっかけに、この会が主催した講習会を受講し、入会しました。はじめはストレスを感じていた朗読も、今ではとても楽しいです。録音当番では、時間がかかる分達成感があります」とうれしそうに話してくれました。

「時間に都合のつく方は自宅でもできるので、一緒に活動してみませんか」と瀧内さん（☎1138）は呼び掛けていました。

市の広報紙や視力障がい者が発行している新聞『ひかりの輪』などの朗読の録音に精を出しているボランティアの会は、今年20周年を迎え、記念誌の作成や3月6日に祝賀会を予定しています。

